2017 年 4 月

伊東市・市長選立候補者への公開質問

佐藤 裕氏の回答

質問①…市長になられたときに、伊東市の将来像を考えながら、市の活性化のために重点的に取り組みたい施策を二つに絞ってお答えください。

回答

1、「伊東市総合計画の再策定をします」

具体的な目標を持ち伊東市の目指す街づくりを表現した伊東市総合計画の再策定をします。人口減少の見込まれる日本にありながら活力ある地方の小都市としてどのようなコンパクトシティを目指すのか市民に分かりやすく説明し、理解を得ながら策定します。PDCA サイクルを導入して行政効率を最大限に拡大し計画の遂行に努めます。

2、「地域行政の担当課と伊東新時代会議の創設をします」

市内を 3～5 ブロック程度に分け、各地の要望をまとめ、地域の特色を生かした街づくりを実践する地域行政の担当課を新設し、市民の要望にﾜﾝｽﾄｯﾌﾟでお応えします。また市全域の案件には市長の私的諮問機関として、市内外有識者による伊東新時代会議を創設します。伊東市の総合的問題や重大な問題について自由闊達な意見を答申していただきます。会議の議事録は公開を原則として市民の意見も取り入れる制度を導入したいと思います。

質問②…伊東市は平成 72 年の人口を 4 万 2 千人とする政策目標を掲げています。市の長期的な人口減少に対処するために、以下の課題をどう考えていますか。お答えください。

(1)子育て支援や子どもの教育支援の充実策について。

回答

「子どもがのびのびと育つ明るい伊東を創ります」

①待機児童０ゼロ！②放課後学童クラブ公設化！③食育の充実！④独自の奨学制度導入！それぞれに期限目標を設定し、迅速に実施いたします。また、学区の再編にも取り組んでまいります。

(2)移住・定住促進策。

回答

「移住促進と定住化サポートで安心」

さらなる行政コンサルティングの強化で、起業のサポート、空き店舗対策、定住セミナーなどに取り組み、不動産業者と連携したお試し住宅など空き家バンクでの情報提供を積極的に実施します。

質問③…伊東市の一人当たりの所得を向上させるために、産業及び観光振興策についてどのように考えておられるか、具体的にお答えください。

回答

「シティプロモーション＆観光施策重点実施」

観光地として、やはり観光客の増加が所得向上につながります。

年間宿泊客数 350 万人（2020 年度）を目指してシティプロモーションの計画的な実施と観光イベントの見直し誘客施策で 2017 年度宿泊客 300 万の達成、2020 年度 350 万人の達成を目指します。産業の 6 次化を進め観光の推進と相乗効果をもって所得向上を目指します。

質問④…これからさらに増加する伊東市の高齢者(65 歳以上)の生活と福祉を充実させるため、以下の三つの課題について、どのように考えておられますか。具体的にお答えください。

(1)行き届いた医療体制

回答

医師会にも協力をいただき、病院・医院や健康福祉センターと連携し、高齢者ができるだけ要介護の状態にならないように予防することを目的とした地域包括ケアシステムの構築を目指します。在宅医療・予防医療の推進。

(2)介護の充実

回答

可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう介護予防を推進します。歯の検診・介護予防運動・認知症ケアなど、地域包括支援を推進します。

(3)高齢者の交通手段の確保

回答

おでかけ支援「オンデマンド交通」（自治体・地域とタクシー・バス会社等が協力して、利用者のニーズに合わせて配車を運行する乗り合いの交通システム）を通常のタクシーとの棲み分けおよび福祉移送サービスとの整合性を見ながら推進したい。

質問⑤…八幡野・赤沢地区の山林に、大規模なメガソーラを建設する計画が進められています。伊東市の自然景観を保護する観点からこのような大規模開発についてどのように考えますか。

回答

「メガソーラーの建設は絶対に阻止しましょう」

再生可能エネルギーの導入は賛成ですが、それは地域や環境にマッチしていればの話で

す。今回伊東市に計画されているメガソーラーは環境の破壊により災害のリスクが増大し、美しい伊豆の景観を壊します。現在地元住民の反対署名が 2,500 名超、環境破壊（観光、漁業、農業）や現時点で確立されていない処分法など、豊かな山の恵み・美しい海とその恵みを失ってしまうようなメガソーラー建設は絶対に認めてはいけません。

質問⑥…南海トラフ巨大地震等の大災害に備えた伊東市の防災体制の現状と課題について、お答えください。

回答

内閣府防災情報は「東海地震の可能性は 30 年間以内に 88%」と発表しています。

災害時の関係機関(消防本部・教育機関・警察署・福祉団体・民生委員・児童委員・自主防災組織など）との緊急ネットワークの再構築や①防災教育②知らせる対策③逃げる対策④震災後の対応の充実を図りたい。地域に合わせた避難訓練を何度も繰り返すことで、いざという時の対応をみんなで周知したい。

質問⑦…浜岡原発の万一の事故に備えて、原子力防災の必要性を市民にどのように周知させていこうと考えていますか。また、再稼働の是非についてどう考えますか。

回答

「浜岡原発は廃炉を目指しましょう」

事故があれば風に乗った放射能は約 4 時間で伊豆半島を覆います。海洋に流れ出れば潮の流れでやはり数時間で伊豆の海を汚染させてしまいます。30 キロ圏内には、東名高速、JR 東海道線、国道 1 号線、静岡空港があり、日本の大動脈が寸断され伊豆に住むことが出来なくなる事も予想されます。私たちは 3.11 で学びました。もう二度と同じ過ちを犯してはいけません。

質問⑧…行政運営の効率化やプライバシー保護の観点を踏まえて、行政サービスの民間委託を進めることについて、どのようにお考えですか。

回答

時代背景や社会的状況の変化により、サービスの向上やコスト削減を図るために、民間委託や指定管理制度を推進していきます。しかし委託先の個人情報の管理や，セキュリティ対策がしっかりと確保されている必要があり、それをチェックする高度な専門性も要することで慎重な検討は必要です。

質問⑨…市民の声を行政に反映するために公的なオンブズマン制度を設けている自治体があります。このような市民と行政を繋ぐための制度的な仕組みを作ることについて、どうお考えですか。

回答

市政を取り巻く環境の変化等に伴う行政課題へ対応するため、地域の問題を市役所から出て街の問題をしっかりと認識できるように地域行政を総合的に担当する課を新設、総合的な課題や将来的なビジョンを市民とともに伊東新時代会議の創設をします。

質問⑩…最後に国政問題について伺います。候補者は以下のテーマの中でどの項目に最も関心がありますか。その理由とともにお答えください。(記号に〇印をつけてお答えください。)

A 憲法改正、B 原発廃炉、C 天皇の生前退位問題、D 消費税の増税、E 少子高齢化問題、F その他(　　)

回答

E 少子高齢化問題

少子高齢化問題は伊東市でも迅速に取り掛からなければいけない課題です。

人口減少の見込まれる日本にありながら活力ある地方の小都市としてどのようなコンパクトシティを目指すのか市民に分かりやすく説明し、理解を得ながら策定したいと考えています。

【公開質問の実施者】

下記の三団体が共同して実施しました。

・伊東を考える市民の会　　代表　亀岡憲一（☎ 38-5343　）

・原子力いいんかい？ @伊東　　代表　中山千夏（☎ 38-3588）

・「平和と人権」市民ネットワーク@伊東 代表　三好康昭（☎45-1182）

【実施方法】

4 月初旬立候補を表明されたお二人に直接質問書を手交し、

20 日までに文書または電子ファイルで回答をいただきました。

いただいた回答を本文のように整理しました。